

# 会報 第13号

# Beyond the Horizon



発行：宮古市国際交流協会（宮古市役所企画課交流推進室内）  
宮古市宮町一丁目1番30号  
Tel: 0193-68-9136 Fax: 0193-63-9114

Homepage: [www.miyako-kokusai.com](http://www.miyako-kokusai.com)  
Facebook: [www.facebook.com/miyako.international](https://www.facebook.com/miyako.international)  
多文化共生ラジオ: 毎週水曜日午後6時半～



お茶の点て方を教わるベトナム出身の技能実習生



## にほんご広場 浴衣と抹茶の会

9月19日、イー  
ストピアみやこで、  
「浴衣と抹茶の会」  
を開催しました。  
毎年秋に行われる  
「みやこ秋まつり」  
では、市内在住の外  
国人の皆さんに、浴  
衣を着て手踊りパレ  
ードに参加していただ  
いていますが、今年  
はコロナ禍のため、  
秋まつりが中止になっ  
てしまいました。そ  
のため、外国人市民  
の皆さんに日本文化  
を体験していただく  
機会として、今回の  
イベントを企画しま  
した。  
当日は、市内の学  
校で英語を教えてい  
る外国語指導助手の  
皆さんや、市内の企

業で実習を行っている  
技能実習生の皆さん、  
市内の中学校の  
生徒さんなどが参加  
してくださいました。  
参加した外国人市  
民の皆さんは、講師  
の田代さんから、抹  
茶の点て方、お茶の  
出し方、器の楽しみ  
方など、とても興  
味深そうに教わって  
いました。

1月4日にイーストピ  
アみやこ  
で書き初  
めを行い  
ました。  
日本人  
の参加者  
と一緒に、  
書きたい  
文字や文  
章を選び、  
硯と半紙



## 日本語教室 さくら 書き初め

市内在住の外国人市  
民の皆さんが日本語を  
学ぶ、日本語教室さく  
らのイベントとして、  
は書くのが難しい。愛  
はときどき挑戦です」  
とコメントしました。

に向かいました。  
書き終わったあ  
と、自分の作品を  
日本語で発表し合  
いました。カリブ  
海のバルバドス出  
身のイーライさん  
は「愛」という作  
品を紹介。「『愛』

# 医療通訳研修会

11月21日、イーストピアみやこで「医療通訳研修会」を開催しました。

昨年は新型コロナウイルス感染症のために、宮古市を訪れる外国人観光客の数は激減しましたが、感染症の終息後を見据えて、怪我や急病で病院を受診する外国人をサポートできる人材の育成を目的として実施しました。

一般社団法人日本公共通訳支援協会（COTIS）代表理事で、今回の研修会でテキストとして使用した『医療通訳学習ハンドブック』の著者のおひとりで、同協会運営委員で、ポルトガル語の通訳および通訳コーディネーターとして活躍されている岩本弥生先生に講師を務め

ていただきました。コロナ禍のため、先生方とオンラインで繋ぎ、遠隔で講義を行っていただきました。

研修会には、6名の方が会場で、6名の方がオンラインで参加してくださいました。これまでの外国客船寄港の際に通訳スタッフとしてご協力いただいた方や、宮古市役所港湾振興課の職員の方、薬剤師の方、岩手大学国際課で留学生の対応に当たられている方など、さまざまな形で外国人と接する機会のある皆さんが参加してくださいました。また、参加者が対応できる言語も、英語、中国語、韓国語、ドイツ語、マレー語、イタリア語と多岐にわたりました。

西村先生からは、医療通訳の概要・倫理、身体

組織や病気の知識などをご説明いただきました。

また岩本先生からは、通訳技術の基礎として、一人でもできる通訳技術向上のための練習方法などを教えていただきました。

地方では、専門家の先生方から研修を受ける機会は少ないため、とても貴重な機会になりました。

昼食をはさんで4時間以上にも及ぶ長時間の研修に参加された皆さんからは、とても有意義な研修会であったと高い評価をいただきました。

2020年は、ダイヤモンド・プリンセスやコスタ・ベネチア、ウェステルダムなどの大型客船を含め、外国客船の宮古港寄港が5回予定されていますが、新型コロナウイルス感染症拡大のために、残念ながらすべてキャンセルになってしまいました。

2021年と2022

年は、外国客船の宮古港への寄港の再開が予定されています。過去の寄港の際には、乗客が怪我をして病院に運ばれるということも実際起こっていますので、今後の客船寄港再開に向けて、研修会

に参加された皆さんの通訳技能と意識のさらなる向上に役立ったのではないかと思います。



イーストピアの会場で研修会に参加された皆さん。感染症対策のため、十分な間隔をあけています

# 宮古市の多言語表記を考える ワークショップ

中国出身で、地域おこし協力隊として宮古市で活動する魏芳芳さんが中心となり、10月8日から4回にわたって、「宮古市の多言語表記を考えるワークショップ」を開催しました。



活発な意見が交わされました

魏さんは、浄土ヶ浜ビクターセンターや駅前観光案内所で、外国人観光客への対応などを行っています。日頃の業務の中で、市内の観光地の案内表記や飲食店のメニュー表記を改善する必要性を感じていて、市内在住の外国人や関係者にご参加いただき、今回のワークショップを開催しました。

表記を改善する必要性を感じていて、市内在住の外国人や関係者にご参加いただき、今回のワークショップを開催しました。参加した皆さんは、案内表記を外国人観光客に伝わりやすくするにはどうしたらよいかや、どんな言語が必要かなどについて、活発に意見を交換していました。



進行役の地域おこし協力隊の魏さん

案内表記を外国人観光客に伝わりやすくするにはどうしたらよいかや、どんな言語が必要かなどについて、活発に意見を交換していました。

# 浄土ヶ浜遊覧船

## クリスマスデコレーション

11月28日に、浄土ヶ浜遊覧船のクリスマスデコレーションを行いました。クリスマスイベントの一環として実施し、日本人と外国人の交流の場とすること、外国人に宮古の魅力を知ってもらうことを目的に開催しました。

遊覧船の浄土ヶ浜周遊コースに乗船したあと、遊覧船内のクリスマスの飾りつけを楽しみました。残念ながら外国人の参加者はおらず、また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業規模を縮小しましたが、普段入ることのできない操舵室の見学などの貴重な体験ができ、参加者の皆さんはとても楽しんでいました。

58年間、宮古の観光を支えた浄土ヶ浜遊覧船は、1月11日で運航を終了しました。たくさん思い出をありがとうございました。2022年5月に新たな形で再スタート予定です。その日を楽しみに待ちましょう。



2022年5月に新たな形で再スタート予定です。その日を楽しみに待ちましょう。



日本中国友好協会創立70周年記念表彰伝達式が12月に行われ、宮古市国際交流協会の会長で、宮古市日中友好協会の会長でもある後藤康文氏が、永年会員表彰を受賞されました。後藤会長が架け橋となり、宮古市と友好協力都市である中国の烟台市は、約30年にわたり、強い絆と友情で結ばれています。後藤会長、おめでとうございます。

# 災害時研修 HUG

11月1日、イーストピアみやこで、日本人・外国人市民の皆さんに参加していただき、にほんご広場・災害時研修「HUG」を開催しました。

「HUG」とは、「避難所運営ゲーム」の頭文字から生まれた名称です。

2階を避難所に見立て、2つのグループに分かれてHUGに取り組みました。

参加した皆さんからは、「自分の考えが当たり前だと思わないこと」「LGBTQへの配慮も必要」といった意見が出されました。



参加した皆さんからは、「自分の考えが当たり前だと思わないこと」「LGBTQへの配慮も必要」といった意見が出されました。

## 宮古商工高等学校での英語授業

宮古商工高等学校では、毎年開催される「宮商デパート」に際して、外国人のお客様への対応を学ぶための英語教育に力を入れています。

今年度は残念ながら宮商デパートは中止になってしまいましたが、市内在住の外国人の皆さんが宮古商工を訪問し、外国人のお客様への英語での対応の仕方について授業を行いました。



講師のシーザーさん



講師のダニエルさん

## 第3回 にほんごスピーチコンテスト

みやこ宮古、またはみやこ宮古の近くにす住むがいこくじん外国人市民のみな皆さんによる、スピーチコンテストを開催します！

日時：3月7日（日曜日）午後3時から午後4時30分まで

場所：イーストピアみやこ 1階 交流プラザ

申込期限：2月15日まで

YouTubeでライブ配信します！